

トレーディア株式会社

第94期 報告書

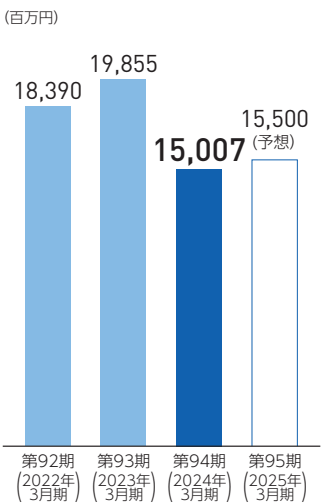
2023年4月1日～2024年3月31日

連結財務のハイライト

2024年3月期

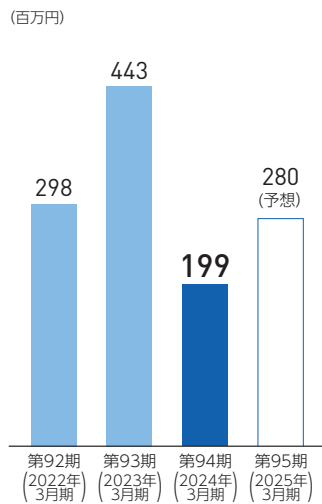
営業収入

150億07百万円



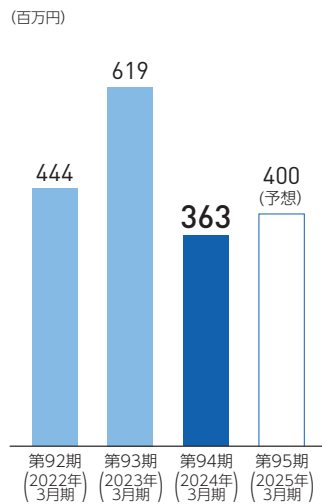
営業利益

1億99百万円



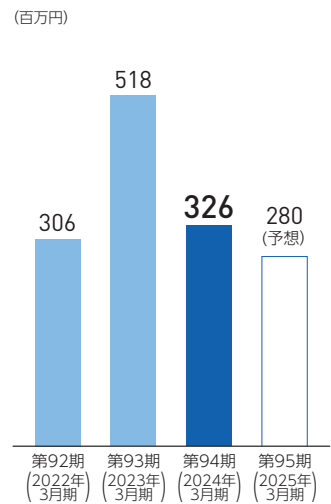
経常利益

3億63百万円



親会社株主に帰属する
当期純利益

3億26百万円



2025年3月期 通期予想

営業収入

155億00百万円

前年同期比
3.3%増

営業利益

2億80百万円

前年同期比
40.1%増

経常利益

4億00百万円

前年同期比
10.2%増

親会社株主に帰属する
当期純利益

2億80百万円

前年同期比
14.3%減



詳細は、当社ホームページに掲載されている「IR情報」をご覧ください。

<https://tradia.co.jp/ir/>





代表取締役社長
吉田 大介

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに、第94期（2024年3月期）の連結業績と取組状況についてご報告申し上げます。

物流をとりまく環境はグローバル化、多様化によりめまぐるしく変化しており、より質の高いロジスティクス・サービスが求められています。

このような事業環境の変化に対応するため、経営基盤の強化を図るとともに、当社グループの持続的な成長と企業価値向上を目指してまいります。

企業使命である「国際物流業務を通して世界の産業とくらしに貢献する」を念頭に、社員、役員、そしてグループ会社一丸となり社業に取り組んでいく所存でございます。

今後とも、株主の皆様のご期待に沿うことができますよう努めてまいりますので、格別のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2024年6月

当連結会計年度におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化を反映し、外食や国内外への旅行、各種イベント等のサービス消費、インバウンド需要を中心に緩やかな回復基調で推移しました。その一方で、円安進行による物価高騰による買い控えの動きや、ウクライナ・中東情勢の緊迫化、不動産不況による中国経済の減速等、景気の下振れ要因は払拭されておりません。

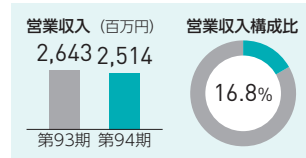
当社グループを取り巻く環境としては、輸入品の物価高騰による個人消費の低迷、コロナ禍後の需要一巡による荷動き鈍化のあおりを受け、取扱量が前年実績を下回って推移しました。また、国際物流を担うコンテナ船による海上輸送においても、需給バランスの緩みから、運賃水準が前年同期比で大きく下落し、厳しい状況で推移しました。

当社グループはこのような状況下におきまして、顧客ニーズに柔軟に対応した積極的な営業展開に努めてまいりましたが、総取扱量は前年同期比6.7%減少し、国際部門の運賃の大幅な下落もあり、営業収入は前年同期比24.4%減の150億7百万円余（対前年同期48億47百万円余減）、営業総利益は前年同期比23.0%減の9億50百万円余（対前年同期2億84百万円余減）となりました。営業損益は、前年同期比54.9%減の1億99百万円余の利益（対前年同期2億43百万円余減）、経常損益は、持分法による投資利益が減少したことなどにより前年同期比41.4%減の3億63百万円余の利益（対前年同期2億56百万円余減）となりました。特別利益として投資有価証券売却益1億9百万円余を計上しましたが、親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期比37.0%減の3億26百万円余（対前年同期1億91百万円余減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

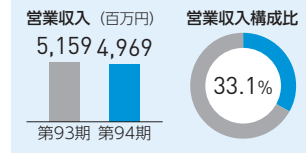
輸出部門

輸出部門におきましては、食料品、雑貨が増加し、機械機器製品も持ち直しの動きが見られたため、取扱量は前年同期比で微増となりました。しかしながら、自社倉庫での取扱量や取扱件数が前年同期比で減少したため、収益性の改善には至らず、輸出部門の営業収入は前年同期比4.9%減の25億14百万円余（対前年同期1億28百万円余減）、セグメント損失53百万円余（前年同期はセグメント損失74百万円余）となりました。



輸入部門

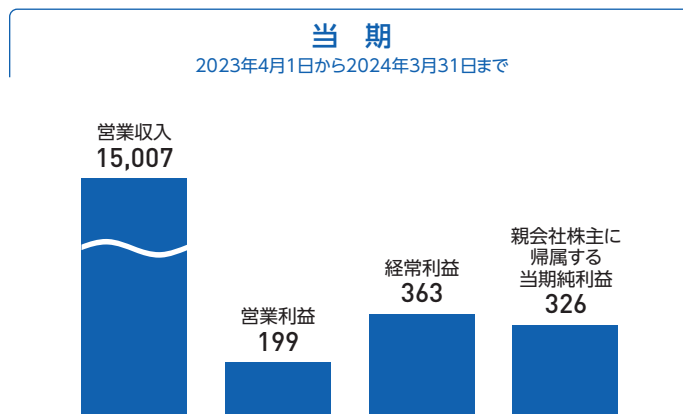
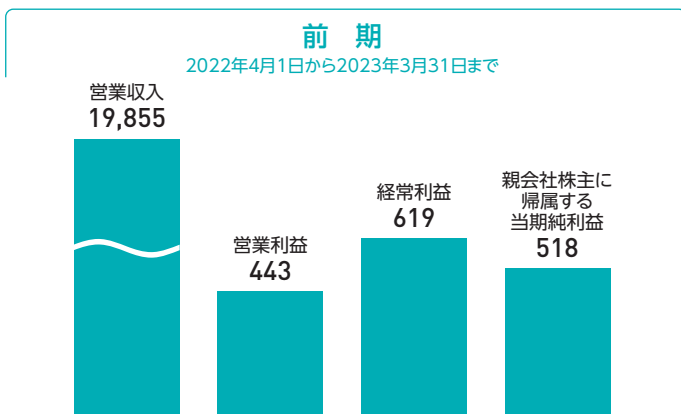
輸入部門におきましては、食料品、機械製品が増加しましたが、雑貨が減少したことから、取扱量は前年同期比5.6%減少となりました。取扱件数は前年同期比で微減でしたが、通関料収入の減少等が影響し、輸入部門の営業収入は前年同期比3.7%減の49億69百万円余（対前年同期1億90百万円余減）、セグメント損失43百万円余（前年同期はセグメント損失85百万円余）となりました。



連結財務諸表（要約）

連結損益計算書のポイント

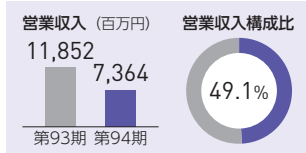
（単位：百万円）



（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

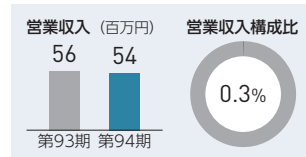
国際部門

国際部門におきましては、需給バランスの緩みから運賃水準が前年同期比で大幅下落し、在庫調整等の影響で取扱量も前年同期比11.9%減となったことから、営業収入は減収となりました。輸出においては、台湾、インド向け設備案件、三国間貿易の低迷、航空便案件の減少、情勢緊迫化による紅海の迂回、水量不足によるパナマ運河航行制限等が減収要因となりました。輸入においては、コロナ禍後の在庫調整で中国華南地区、東南アジア発の荷動きが低調であったこと、円安進行による物価高騰で内需が振るわなかったことが減収要因となりました。その結果、営業収入は前年同期比37.9%減の73億64百万円余（対前年同期44億88百万円余減）、セグメント利益は前年同期比56.3%減の2億35百万円余（対前年同期3億3百万円余減）の計上となりました。



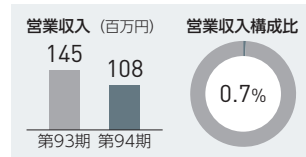
倉庫部門

倉庫部門におきましては、営業収入は前年同期比4.9%減の54百万円余となりました（対前年同期2百万円余減）。セグメント利益は前年同期比4.0%減の50百万円余（対前年同期2百万円余減）となりました。



その他

船内荷役等の営業収入は前年同期比25.4%減の1億8百万円余となり、セグメント利益は前年同期比2.4%減の10百万円余となりました。



今後とも業績向上に全力で取り組み、株主の皆様のご期待に沿うことができますよう努めてまいりますので、格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

TOPICS ホームページリニューアルのお知らせ

ホームページをリニューアルいたしました。今回のリニューアルでは、利用者の皆様にとって、より使いやすいホームページを目指し、デザイン面とページの構成を見直しました。また、スマートフォンやタブレットでの表示にも対応しましたので、デバイスを問わずにいつでも閲覧いただけます。



これまで以上に有益な情報をお伝えできるホームページとなるよう努めてまいります。

<https://tradia.co.jp/>



TOPICS サステナビリティへの取り組み

SDGsを「果たすべき社会的責任」と認識しており、事業活動を通じ、持続可能な社会の実現に向けて、様々な課題に取り組んでまいります。

例えば、鉄道コンテナ輸送サービスを展開し、モーダルシフトを推進し環境負荷の低減、女性従業員が能力を十分に発揮し活躍できる環境を整備し女性管理職比率の向上、コンプライアンス遵守体制、仕組みの構築などに取り組んでおります。

これからもSDGsの活動を進めるとともに、新しいことにチャレンジして、人と社会そして地球全体を持続可能な社会・環境にしていく取り組みを推進し、より良い未来を社員と共に創ることを目指してまいります。

<https://tradia.co.jp/sdgs/>



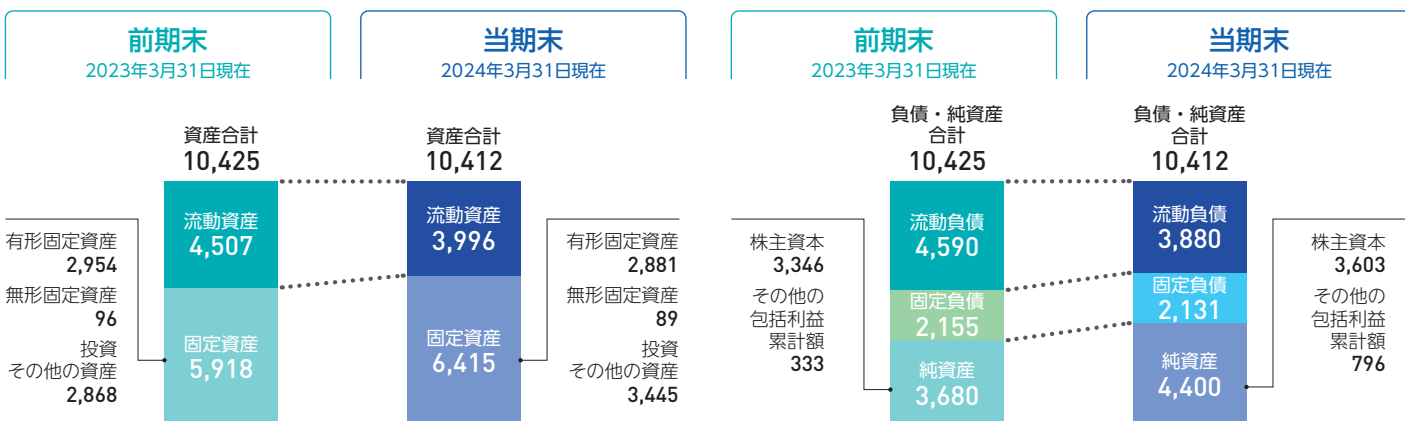
詳細はホームページに掲載されているIR情報をご覧ください。

<https://tradia.co.jp/ir/>



連結貸借対照表のポイント

(単位：百万円)



(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要

商号 トレーディア株式会社
所在地 神戸市中央区海岸通1丁目2番22号
設立年月日 1941年4月1日
代表者 代表取締役社長執行役員 吉田大介
従業員数 321名
営業種目 1.港湾運送業 2.通関業
3.普通倉庫業 4.貨物利用運送業
5.運送代理店 6.損害保険代理業
7.不動産賃貸 8.前各号に関連する一切の事業
主要取引銀行 みなと銀行・三菱UFJ銀行・三井住友銀行

事業拠点

関西 本店 神戸支店 大阪支社 六甲物流センター
摩耶埠頭倉庫 P.I.L15上屋 神戸西物流センター
大阪営業所(築港倉庫) 南港Q1上屋
東海 名古屋支店 潮屈物流センター 名四倉庫
関東 京浜支店 東京港営業所(城南島物流センター)
大井海貨上屋2号棟 横浜営業所(新山下倉庫)

株式の状況

発行可能株式総数 5,400,000株
発行済株式の総数 1,470,000株
株主数 1,141名

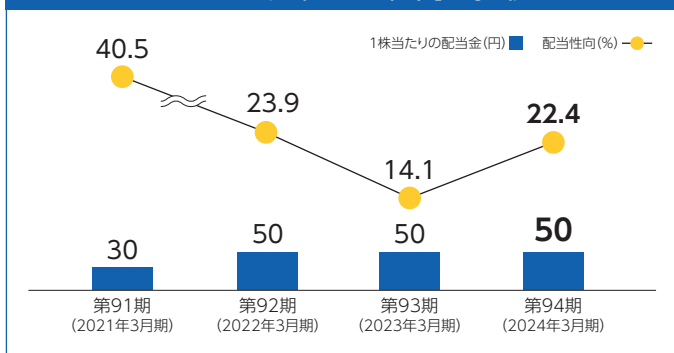
大株主（上位10名）

株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
トランコム株式会社	1,422	9.7
トレーディア株式会社社員持株会	911	6.2
株式会社みなと銀行	727	5.0
大豊運輸倉庫株式会社	700	4.8
日本郵船株式会社	687	4.7
三菱UFJ信託銀行株式会社	667	4.6
日本製麻株式会社	569	3.9
丸正株式会社	500	3.4
垂水 邦明	288	2.0
株式会社シンワ・アクティブ	250	1.7

(注1) 持株数は百株未満を切り捨てて表示しています。

(注2) 持株比率については、自己株式数(3,786株)を控除して算出(小数第2位を四捨五入して表示しています)。

配当金と連結配当性向の推移



※第92期(2022年3月期)は、設立80周年記念配当20円を含む。

役員 (2024年6月27日現在)

代表取締役	会長執行役員	古郡 勝英
代表取締役	社長執行役員	吉田 大介
取締役	常務執行役員/京浜支店長	嶋津 清仁
取締役	執行役員/海外統括本部長	堀木 靖之
取締役	執行役員/営業統括本部長 兼 大阪支社長	羽澤 哲朗
取締役	(社外取締役) 監査等委員	丸山 英聡
取締役	(社外取締役) 監査等委員	中弥 和美
取締役	(社外取締役) 監査等委員	織田 研二郎
上席執行役員	神戸支店長 兼 大阪営業所長	森田 勝徳
執行役員	財務本部長	茨木 信弘
執行役員	総務本部長	小林 英之
執行役員	名古屋支店長	菅原 勲

株主メモ

決算期 毎年3月31日
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会において、権利を行使すべき株主様は、毎年3月31日現在の株主名簿に記載された株主様とします。
公告方法 電子公告
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
☎0120-094-777

1単元の株式数 100株

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主の皆様の声をお聞かせください



当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー

スマートフォンからカメラ機能でQRコードを読み取り
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社アロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 ☎ koekiku@pronexus.co.jp